

◎ 学校給食費の公会計化について

1 公会計化を行う背景

現在、横須賀市の学校給食費の管理については、各学校で収納管理等を行う会計制度（私会計）をとっています。その中で、給食費の未納対策及び徴収事務にかかる学校現場の業務負担など、様々な課題があります。これらの課題に対応するため、本市では平成 30 年 4 月から市で学校給食費の収納管理等を行う会計制度（公会計）に変更する予定であり、その公会計化にあわせて学校給食費管理システムを導入し、市で一括して収納管理等を行う予定です。

2 公会計化により期待できる効果

(1) 会計の透明化

歳入歳出予算に計上することで、学校給食費の取り扱いが明確になり、保護者等との金銭授受の適正化を図ることができます。

(2) 債権債務の所在の明確化

学校給食費の滞納問題に対処する際に、債権債務の所在を明確化することで法的措置の実施が可能となります。

(3) 教職員の負担軽減

従来、学校が担っている給食費の管理業務、督促業務などが市に移管するため、教職員の負担が軽減されます。

3 運用方法

学校給食費の公会計化に伴い、児童・生徒、教職員等約 30,000 人分の学校給食費を口座振替等により市が保護者等から徴収します。生活保護、就学援助、児童生徒の転入・転出や長期欠席などの状況を把握して調定を行う必要があること、また、納入状況や督促状況などを正確に管理する必要があることから、給食費管理システムを導入し、保健体育課で管理していきます。